

- 問1 南アメリカのアンデス山脈で、マチュピチュを建設した巨大な帝国を何という？
- 問2 孔子が理想的な政治を説いて回った、中国の争いが絶えなかった時代を何という？
- 問3 エジプト文明で使用されていた象形文字のことを何という？
- 問4 秦の始皇帝が築き始め、その後、漢の時代にも整備された北方の騎馬民族を防ぐための巨大な城壁を何という？
- 問5 インダス文字が刻まれて残されている、当時の人々の証となった道具を何という？
- 問6 メソポタミア文明で高度な数学的知識に基づき使われていた計算法を何という？
- 問7 古代エジプト文明の発展を支えた、毎年決まった時期に氾濫して肥沃な土壌をもたらした川を何という？
- 問8 甲骨文字が変化し、現代の中国でも使用されている文字の体系を何という？
- 問9 エジプト文明で使用されていた、絵のような独特の文字を何という？
- 問10 中国文明が発展した、中国北部を流れる川の名前を何という？
- 問11 日本の倭の奴国王が、1世紀頃に使いを送って授かったとされる贈り物を何という？
- 問12 メソポタミア文明が栄えた、二つの川のうちの一方で、西側の川を何という？
- 問13 古代ギリシアの高度な政治や文化を、労働力として支えていた社会的な仕組みを何という？
- 問14 16世紀前半にインカ帝国を征服し、滅亡させたのは何という民族？
- 問15 古代のインダス文明において、都市の衛生環境を整えるために整備された施設を何という？
- 問16 黄河流域で発展した中国文明において、祭祀などの目的でつくられた金属製の道具を何という？
- 問17 チグリス川とユーフラテス川の流域で発達した、世界最古といわれる文明を何という？
- 問18 川の氾濫時期を知るために発達した天文学に基づき、古代エジプトで使われた暦を何という？
- 問19 殷の時代、亀の甲羅や動物の骨に刻まれていた文字を何という？
- 問20 日本の旧石器時代に使われていた、石を打ち欠いてつくられた石器を何という？
- 問21 チグリス川とともにメソポタミア文明が栄えた川の名前を何という？
- 問22 インダス川流域に位置する、計画的に建設された古代文明の代表的な都市遺跡を何という？
- 問23 メソポタミア文明において、粘土板に刻まれるために発明された文字を何という？

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え</b> <b>インカ帝国</b>	15世紀から16世紀にかけて繁栄しました。文字を持たない代わりに「キブ」と呼ばれる結び目のついた紐で数字や情報を記録し、広大な領土を統治しました。マチュピチュは標高2400メートルの山頂に築かれた都市で、その精巧な石積み技術は現代でも世界中で驚かれています。
問2	<b>答え</b> <b>春秋戦国時代</b>	この時代には、孔子のような「諸子百家」と呼ばれる思想家たちが現れ、社会を安定させるための様々な政治理論を提唱しました。
問3	<b>答え</b> <b>ヒエログリフ</b>	ヒエログリフは、絵や図形を組み合わせた象形文字です。主に神殿の壁画や墓石に彫られることが多く、聖なる文字として尊重されていました。記録用にはより簡略化された文字も併用されていました。
問4	<b>答え</b> <b>万里の長城</b>	万里の長城は、農耕社会である中国を守るために築かれた巨大な防衛線です。秦の始皇帝が各地の城壁をつなぎ合わせて築き始め、漢の時代には西域への交易路を守る役割も兼ねて、さらに広範囲に整備が続けられました。
問5	<b>答え</b> <b>印章</b>	インダス文明の遺跡からは、滑石などで作られた「印章」が大量に発見されています。この印章には、独特のインダス文字とともに、牛や象、虎などの動物が精巧に彫り込まれていました。これらは商取引の際に物品に押し付けたり、身分証明として使われたりしたと考えられています。
問6	<b>答え</b> <b>60進法</b>	60という数字は割り切れる数が多く、分割や計算に非常に便利であったため、この計算法が発達しました。この知恵によって月の満ち欠けを元にした太陰暦が作られ、暦の基礎が整えられました。
問7	<b>答え</b> <b>ナイル川</b>	ナイル川は毎年決まった時期に定期的な氾濫を繰り返し、そのたびに下流域に肥沃な土壌を運びました。人々はこの恵みを利用して農耕を行い、食料を確保することで高度な文明を築くことができました。
問8	<b>答え</b> <b>漢字</b>	漢字は、象形文字から派生した表意文字です。秦の始皇帝による文字の統一を経て、書体が整えられました。数千年にわたり、歴史的な記録や文学、法律などの記述に使われ、東アジアの文化圏において中心的な役割を担いました。
問9	<b>答え</b> <b>象形文字</b>	象形文字は、身近な事物や動物をモチーフにした絵文字に近い文字です。神殿の壁画やパピルスなどに刻まれ、主に祭祀や歴史記録のために使われました。また、当時の王の墓であるピラミッドにも多くの記録が残されています。
問10	<b>答え</b> <b>黄河</b>	黄河は、その名のとおり黄色い土（黄土）を運び、川の下流に広大な平野を形成します。この土地は作物を育てるのに非常に適しており、紀元前から多くの人が集まって定住しました。これが中国文明の始まりとなり、農耕社会が形成されました。
問11	<b>答え</b> <b>金印</b>	金印は、福岡県の志賀島で発見されたとされる、金で作られた印章です。「漢委奴国王」という文字が刻まれており、当時の倭の王が中国の皇帝から冊封（さくほう）体制の一部として認められた証拠と考えられています。
問12	<b>答え</b> <b>チグリス川</b>	チグリス川とユーフラテス川は定期的に氾濫し、そのたびに肥沃な土壌が供給されたため、農業が急速に発展しました。
問13	<b>答え</b> <b>奴隷制</b>	市民が民会や公職といった政治活動に専念できるのは、農作業や家事などの重労働をすべて奴隷が担っていたからです。市民が政治に打ち込める余裕は、この奴隷による労働に大きく支えられていました。
問14	<b>答え</b> <b>スペイン人</b>	スペイン人のフランシスコ・ピサロが少数の兵を率いてインカ帝国に上陸しました。インカ帝国は当時、内乱や疫病の影響で弱体化しており、馬や鉄の武器、火器を用いたスペイン人の軍勢に対抗することができませんでした。1533年に皇帝アタワルパが処刑され、インカ帝国は事実上の滅亡を迎えました。
問15	<b>答え</b> <b>下水道</b>	都市には住宅から汚水を流すためのレンガ造りの下水道が完備されていました。これは紀元前の文明としては極めて珍しく、当時の人々の衛生意識の高さと優れた土木建築技術を示しています。
問16	<b>答え</b> <b>青銅器</b>	青銅器は、銅と錫の合金を型に流し込んで作られた道具で、当時の王が権威を示す祭祀用の器として重宝されました。同時に、神への問いかけを亀の甲羅や牛の骨に刻んだ「甲骨文字」が使用され、これがのちの漢字の源流となりました。
問17	<b>答え</b> <b>メソポタミア文明</b>	メソポタミア文明は、シュメール人などによって築かれた世界最古の文明の一つです。灌漑農業を行い、神殿を中心に都市が発展しました。60進法や太陰暦などの高度な知識が生まれ、のちの文明に多大な影響を与えました。
問18	<b>答え</b> <b>太陽暦</b>	古代エジプト人は、特定の星が昇る時期を観測することで、氾濫の始まりを予測しました。これが1年を365日とする太陽暦の原型となりました。
問19	<b>答え</b> <b>甲骨文字</b>	甲骨文字は、殷の王が占いをした結果を記録するために、亀の甲羅や動物の骨に刻んだ文字です。文字そのものが絵に近い形をしており、自然現象や出来事を表しています。発見された骨からは、政治判断や収穫の予測、病気の治癒などに関する当時の記録が読み取れるため、古代史研究の最も重要な資料となっています。
問20	<b>答え</b> <b>打製石器</b>	打製石器は、黒曜石やサヌカイトなどの石を打ち割って鋭い刃を作った道具です。主に動物を狩るための槍の先や、皮をはぐためのナイフとして利用されました。この時代の生活は自然の恵みに頼る不安定なものでしたが、これらの道具が効率的な狩りを可能にしました。
問21	<b>答え</b> <b>ユーフラテス川</b>	メソポタミアとはギリシャ語で「川の間土地」を意味します。チグリス川とユーフラテス川に挟まれたこの地域は、定期的な洪水によって肥沃な土壌が運ばれ、古代から多くの都市国家が興りました。
問22	<b>答え</b> <b>モヘンジョ・ダロ</b>	モヘンジョ・ダロは、整然と区画された道路や、レンガ造りの住宅が立ち並ぶ都市遺跡です。特に、大規模な公衆浴場や公共の施設が備わっており、当時の高度な文明レベルを物語っています。
問23	<b>答え</b> <b>くさび形文字</b>	柔らかい粘土板の上に、葦の茎などを削って作ったペンで押し付けるように書いていたため、線がくさび（木のくさび）のように見えることからこの名がつけました。当初は絵文字から発展しましたが、次第に抽象的な符号へと変化しました。